

# 桑村小学校応援団会議！

桑村小学校 令和6年7月1日 No. 4 文責 関口

## 桑村小代表として堂々と私の主張を発表

6月23日(日)、函南町文化センター大ホールにて、令和6年度函南町青少年健全育成大会が開催されました。その中で、私の主張発表があり、桑村小からは6年大熊清菜さんが代表で登壇しました。題名は、『自然と共に生きる』です。堂々とした立ち居振る舞い、はきはきとわかりやすく力強い発表は、多くの人たちに強く訴えかけるものでした。発表者の中で一番小柄な清菜さんでしたが、その主張するところは、函南町の未来をも見据えた大きくすがすがしいものでした。函南小の藤原校長先生は講評の中で、「アカガシの迫力に感動しながら立派な6年生になりたいという強い思いが伝わってくる。豊かな自然を守っていくための清菜さんの活躍に期待したい」とのお話がありました。また、今回の発表にあたって、学校応援団の鈴木薫さんによる丁寧なご指導がありました。表現力を向上させる上で、とても有意義なアドバイスをたくさんいただき、清菜さんの発表も格段の向上をしました。とてもいい経験になったと思います。これからも桑村小の良きリーダーとして、学校や地域、そして函南町がより住みやすくなるために、引き続き頑張りたいと思います。

健全育成大会では、社会を明るくする運動ポスターの表彰も行われました。桑村小からは、6年清水菜々子さんが、三島地区更生保護女性会長賞を受賞し、表彰されました。また、大熊清菜さんが入選、仲川理人さんも佳作でした。これからも地域の活動でいっぱい活躍できるよう期待します。おめでとうございます。

\*社明ポスターは知恵の和館で7月3日～25日まで展示されます。



## 交通安全リーダーと語る会が行われました！



交通安全リーダーと語る会が、警察や区長、学校応援団など多くの地域の方をお迎えして行われました。最初に、各地域ごとに、危険箇所についての発表がありました。毎日通っている道なので、細かなことにまでよく気がつき、発表できていました。その後行われた地区ごとの話し合いでも、地域の様子を踏まえた突っ込んだ話し合いが行われ、地域の方からも改めて危険箇所についてのお話がありました。

最後に、交通安全リーダー宣言をみんなで発表し終了しました。これで、立派な交通安全リーダーです。三島警察署の方から、交通安全だけでなく、リーダーとして様々な面で活躍するようお話をいただきました。これから、桑村地区のリーダーとしてみんなを引っ張って行ってほしいと思います。

## 「自然と共に生きる」

桑村小学校 6年 大熊清菜

私の通っている桑村小学校は、自然とふれあえる、たくさんの行事があります。

その中でも私は、毎年行われる「原生林探検」がとても楽しみでした。今年は6年なので、最後の「原生林探検」です。そして、改めて自然の素晴らしさを感じることができました。

「原生林探検」の目的地は、頂上近くの大きなアカガシです。私たちは、縦割りグループで一緒に登っていきます。アカガシまでは、長い急な上りの階段が続き、その階段で疲れたなか見ていると、すごい迫力を感じました。樹齢4百年の長い歴史の中、嵐にも台風にも何事にも負けない丈夫な木なんだなと思うと、もっとすごいと感じ、私もみんなをまとめ、協力し合えるような立派な六年生になりたいという気持ちがわいてきました。

また、昔は樹齢七百年も生きていた大きなブナの木もあったそうですが、台風の影響で倒れてしまい、残念ながら今は見ることはできません。原生林の木も、自然の中で負けられない戦いをしているのだと、改めて感じることはできました。

また桑村小学校は、4月頃になると、うす桃色のきれいな桜で学校全体が囲まれます。今年も、運動場や広場の桜が満開になりました。私は、学校に来てお花見をしました。すると、ほかの家族も来てお花見をしています。みんな笑顔で楽しそうでした。でも、毎年こんなきれいに桜が咲く秘密は何だろうと思いました。それは、「花咲かおやじの会」の人たちが、桜の病気であるてんぐ巣病を防いだり整備をしてくれるからです。とても有難いなと思いました。

「花咲かおやじの会」は、十六年も桜の世話を続けているそうです。そのおかげで、毎年、きれいな桜が咲くのだと分かりました。私も大人になったら、桜をきれいに咲かせる活動に参加したいと思います。桑村小学校の桜も、ずっと子供たちを見守っていきたくて思いながら生きているのだと感じました。

他にも桑村小学校では、野菜作りも行っています。学年ごとに、色々な野菜を育てています。六年生は、里芋を育てることになりました。野菜作りについて教えてもらっているのは、学校の用務員さんです。用務員さんは、野菜作りの他にも花壇の整備や草刈りなどもしてくれています。私たちは、国語の学習で、学校に関わっている地域の方にインタビューをしました。そこで、私は用務員さんに野菜作りについてインタビューをしたところ、「野菜作りを面倒くさいと思ったことがない」と答えてくれました。また「うまく育った、予想通りに育ってくれたことがうれしい」とも答えてくれました。用務員さんの話を聞いて、面倒くさいと思ったら、木も花も野菜もうまく育ってくれないのだと思いました。

函南町でも、自然を守る取り組みをしています。人と自然が共生し、豊かな自然を生かした環境で暮らせるまち。そんな町を実現するために、目標として取り組んでいることがあります。それは、①環境に優しいまちづくり、②ゴミを減らし資源を生かすまちづくり、③自然と共生し、未来をつなぐまちづくり、④環境を守り、安心して暮らせるまちづくり、⑤人々が学び行動につなげるまちづくりです。

私は、原生林のある函南町の自然の豊かさと素晴らしさを、一人でも多くの人に知ってもらいたいです。そして、その自然を守るために、私たちにできることがあるのではないかと考えるようになりました。

自然と人は別々ではなく、一緒に生きています。自然は、木も花も野菜も、人によって大切にされています。人が「面倒くさい、やりたくない」と思っていたら、自然もどんどん無くなってしまいます。私たちが、「面倒くさい」と感じないことが、自然を守るための一つだと思います。そして、奉仕作業やボランティアなどに参加することも、自然を守る取り組みにつながると思います。

私は、自然の素晴らしさを感じることでできる「原生林探検」が、これからも桑村小学校の伝統としてずっと続いてほしいです。そして、函南町も、豊かな自然と共に、いつまでも暮らしていける町であることを、願っています。